学校番号	３０２０

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新版 数学Ａ Flex　（実教出版）						
副教材等	アクセスノート 数学Ａ 改訂版　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は、内容の理解、問題演習、発表という形で進んでいきます。
・補充プリントも追加していきますので、整理用のファイルを準備してください。
・問題集も授業の進度に合わせて、解答していってください。
・問題を解くときにはじっくり考えて、丁寧に、初めて見る人であっても考え方が理解できるように途中式を省略せずに完成してください。
・定期考査ごとにノート、問題集を提出してもらいます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	場合の数	集合 集合の要素と個数 場合の数 順列 組合せ	a：集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則，積の法則などの数え上げの原則について理解するとともに，具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 b：事象の構造などに着目し,場合の数を求める方法を多面的に考察できる。 c：事象の構造などに着目し,場合の数を求める方法を多面的に考察しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 補充プリント レポート	ノート 問題集 振り返りシート レポート 発表
	確率	事象と確率 確率の基本性質 独立な試行とその確率 条件付き確率 と乗法定理 期待値	a：確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 b：確率の性質や法則に着目し,確率を求める方法を多面的に考察することができる。 c：確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり，期待値を意思決定に活用したりしようとしている。			
2学期	三角形の性質	三角形と線分の比 三角形の重心・内心・外心 メネラウスの定理とチェバの定理 三角形の辺の比と面積比	a：三角形に関する基本的な性質について理解することができる。 b：図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し，その性質について論理的に考察することができる。 c：図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し，その性質について論理的に考察しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 補充プリント レポート	ノート 問題集 振り返りシート レポート 発表

	円の性質	円に内接する四角形 円の接線と弦のつくる角 方べきの定理 ２つの円	a: 円に関する基本的な性質について理解することができる。 b: 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し，その性質について論理的に考察することができる。 c: 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し，その性質について論理的に考察しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 補充プリント レポート	ノート 問題集 振り返りシート レポート 発表
３学期	約数と倍数	ｎ進法 約数と倍数 最大公約数と最小公倍数 整数の割り算と商および余り ユークリッドの互除法	a: 数量に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解することができる。 b: 数量に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察することができる。 c: 数量に関する概念などを，関心に基づいて発展させ考察しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 補充プリント レポート	ノート 問題集 振り返りシート レポート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度